



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月2日

上場取引所 大

上場会社名 サンコール株式会社
コード番号 5985 URL <http://www.suncall.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田茂次

問合せ先責任者 (役職名) 業務・管理部門長 (氏名) 和田英夫

TEL 075-881-5280

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	8,191	19.3	714	234.5	729	205.9	502	313.3
24年3月期第1四半期	6,868	△14.6	213	△76.3	238	△72.7	121	△75.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 499百万円 (225.9%) 24年3月期第1四半期 153百万円 (△54.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	15.86	15.75
24年3月期第1四半期	3.84	3.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	33,823	25,693	75.7
24年3月期	34,064	25,479	74.5

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 25,589百万円 24年3月期 25,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	—	6.00	—	9.00	15.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	7.00	—	8.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,000	7.5	1,200	95.4	1,100	120.4	700	166.5	22.09
通期	33,500	9.3	2,900	68.1	2,800	50.2	1,800	85.9	56.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別する場合は困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.3【サマリー情報(注記事項)に関する事項】をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	34,057,923 株	24年3月期	34,057,923 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	2,365,729 株	24年3月期	2,365,584 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	31,692,329 株	24年3月期1Q	31,646,976 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
4. 補足情報	9
(1) 製品区分別の売上業績	9
(2) 海外売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要など内需が好調で緩やかに回復しました。特に自動車販売は震災による減少の反動や政府によるエコカー補助金政策により好調でした。一方で、低調な回復に終わった産業もあり、生産回復のペースにばらつきがありました。

米国経済は、自動車販売は好調でしたが、失業率が高止まり状態の雇用は停滞し、景気回復のペースは依然として緩やかでした。欧州経済は、4月に入り債務問題が再燃し混迷を極めました。その後、ユーロ圏首脳は債務危機悪化を防ぐための対応策で合意し、危機は一旦後退しました。中国経済は、主要輸出国である欧州への輸出が伸びず個人消費も低調だった一方、インフレは沈静化し、中国政府は金融緩和など景気減速に歯止めをかけるための政策を打ち出しました。

欧州債務問題が長期化する中、米国及び中国の経済成長鈍化による世界経済全体の減速懸念は払拭されませんでした。日本では債務危機の影響で円高圧力が依然として残り、更に夏場の電力不足が懸念材料として浮上しました。

このような環境の下で当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は81億91百万円（前年同期比 19.3%増）、営業利益は7億14百万円（前年同期比 234.5%増）、経常利益は7億29百万円（前年同期比 205.9%増）、四半期純利益は5億2百万円（前年同期比 313.3%増）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

<日本>

震災影響の反動やエコカー補助金により自動車の生産が回復したことを受け、回復基調となりました。結果として、売上高は68億12百万円（前年同期比 26.2%増）、セグメント利益は7億68百万円（前年同期比 166.0%増）となりました。

<米国>

米国子会社の自動車精密部品は前年に供給開始した新製品の影響もあり、売上は震災前の水準を超えるペースで回復しました。利益についても原価活動の取り組みにより改善が進みました。一方、光通信部品の販売は低調でした。結果として、売上高は6億59百万円（前年同期比 15.3%増）、セグメント利益は26百万円（前年同期比 392.5%増）となりました。

<アジア>

中国子会社（広東省広州市）の自動車精密部品は新製品が立ち上がり、既存製品も好調なことから北米同様、震災前の水準を超えるペースで回復し、利益についても原価改善が進みました。タイ子会社は洪水の影響が続いており、売上は前年の実績を下回りました。ベトナム子会社及び中国子会社（広東省深圳市）ではプリンター関連部品が欧州経済の影響などにより売上は前年実績を下回り、利益についても苦戦しました。結果として、売上高は13億72百万円（前年同期比 6.6%減）、セグメント利益は42百万円（前年同期比 4.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

[資産]

総資産は、338億23百万円（前連結会計年度末比 2億40百万円減）となりました。これは、保有株式の株価下落により投資有価証券が3億87百万円減少したこと等によるものであります。

[負債]

負債は、81億29百万円（前連結会計年度末比 4億54百万円減）となりました。これは、確定納税等により未払法人税等が4億48百万円減少したこと等によるものであります。

[純資産]

純資産は、256億93百万円（前連結会計年度末比 2億13百万円増）となりました。これは、利益剰余金が配当により2億85百万円減少したものの、四半期純利益により5億2百万円増加したこと、株価下落によりその他有価証券評価差額金が2億50百万円減少した一方で、為替換算調整勘定が2億46百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績につきましては、平成24年5月14日の「平成24年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,298	8,083
受取手形及び売掛金	7,495	7,480
商品及び製品	1,321	1,258
仕掛品	1,474	1,419
原材料及び貯蔵品	1,235	1,218
その他	369	640
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	20,193	20,100
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,256	3,261
機械装置及び運搬具（純額）	4,612	4,449
その他（純額）	2,130	2,402
有形固定資産合計	10,000	10,113
無形固定資産		
投資その他の資産	145	151
投資有価証券	3,288	2,900
その他	436	557
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,724	3,457
固定資産合計	13,870	13,723
資産合計	34,064	33,823
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,657	4,491
短期借入金	263	278
未払法人税等	540	92
役員賞与引当金	—	5
賞与引当金	319	172
その他	2,062	2,357
流動負債合計	7,844	7,398
固定負債		
退職給付引当金	504	515
その他	235	216
固定負債合計	740	731
負債合計	8,584	8,129

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,808	4,808
資本剰余金	2,744	2,744
利益剰余金	18,215	18,432
自己株式	△903	△903
株主資本合計	24,863	25,081
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,308	1,057
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	△796	△549
その他の包括利益累計額合計	511	507
新株予約権	104	104
純資産合計	25,479	25,693
負債純資産合計	34,064	33,823

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	6,868	8,191
売上原価	5,801	6,523
売上総利益	1,066	1,668
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	142	175
報酬及び給料手当	233	271
役員賞与引当金繰入額	5	5
賞与引当金繰入額	27	32
退職給付費用	28	28
その他	414	440
販売費及び一般管理費合計	853	954
営業利益	213	714
営業外収益		
受取配当金	30	47
物品売却益	11	15
その他	30	14
営業外収益合計	72	76
営業外費用		
為替差損	42	55
支払利息	4	4
その他	0	1
営業外費用合計	47	61
経常利益	238	729
特別利益		
その他	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産廃棄損	3	0
その他	—	0
特別損失合計	3	0
税金等調整前四半期純利益	235	728
法人税、住民税及び事業税	37	103
法人税等調整額	76	122
法人税等合計	113	225
少数株主損益調整前四半期純利益	121	502
四半期純利益	121	502

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	121	502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△66	△250
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	97	246
その他の包括利益合計	31	△3
四半期包括利益	153	499
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	153	499
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	米国	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	4,978	571	1,318	6,868	—	6,868
セグメント間の内部売上高 又は振替高	419	0	151	570	△570	—
計	5,397	571	1,469	7,439	△570	6,868
セグメント利益	289	5	44	338	△125	213

(注) 1 セグメント利益の調整額△125百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△133百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	米国	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	6,281	659	1,250	8,191	—	8,191
セグメント間の内部売上高 又は振替高	530	0	121	652	△652	—
計	6,812	659	1,372	8,843	△652	8,191
セグメント利益	768	26	42	837	△122	714

(注) 1 セグメント利益の調整額△122百万円には、セグメント間取引消去△5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△117百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 製品区分別の売上業績

製品区分の名称	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減	
	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日		自平成24年4月1日 至平成24年6月30日			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前期比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密機能材料	1,060	15.4	1,037	12.7	△22	△2.1
精密機能部品	3,274	47.7	4,716	57.6	1,441	44.0
サスペンション	1,106	16.1	1,198	14.6	92	8.3
プリンター関連	856	12.5	689	8.4	△166	△19.5
デジトロ精密部品	535	7.8	499	6.1	△36	△6.8
その他製品	34	0.5	49	0.6	14	43.2
合計	6,868	100.0	8,191	100.0	1,322	19.3

[精密機能材料]

精密異形材は前年実績を上回り、弁ばね材料も生産量は引き続き好調に推移いたしました。弁ばね材料については前年同期は震災の影響で国内自動車向け減少分を輸出向けとして販売しておりました。一方、当四半期は国内自動車生産の回復を受け、当社グループ内における精密機能部品での使用が増えてきたことから前年実績を下回りました。この結果、売上高は10億37百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

[精密機能部品]

エンジン用部品、ミッション用部品、安全装置用部品及び機能部品の全てにおいて前年実績を上回ったことから、売上高は47億16百万円（前年同期比44.0%増）となりました。

[サスペンション]

円高と販売価格下落の影響を受けた中、前年実績を上回り、売上高は11億98百万円（前年同期比8.3%増）となりました。

[プリンター関連]

チューブローラーが前年から回復した一方、ムクロローラーの低迷及び前年好調であった軽量タイプのローラーの販売が低調であったことなどから、売上高は6億89百万円（前年同期比19.5%減）となりました。

[デジトロ精密部品]

光通信部品の販売低迷により、売上高は4億99百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

(2) 海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

	北アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	795	294	2,584	60	3,734
II 連結売上高（百万円）					6,868
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	11.6	4.3	37.6	0.9	54.4

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

	北アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	920	187	2,514	82	3,704
II 連結売上高（百万円）					8,191
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	11.2	2.3	30.7	1.0	45.2

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北アメリカ……米国、メキシコ

(2) ヨーロッパ……ドイツ、スイス、オランダ

(3) アジア……中国、韓国、タイ、ベトナム、インドネシア

(4) その他の地域……ブラジル

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。